

公益社団法人日本山岳・スポーツライミング協会
令和6年度 第4回 ハイブリッド理事会報告

- 日 時：令和6年6月6日(木) 14:10—18:15
- 場 所：JSOSビル3F会議室10とWebのハイブリッド会議
- 出席者：蛭田会長、吉田副会長、小野寺専務理事、古賀・町田・望月・濱田(途中退席)・安井(途中退席)・栗田・赤尾常務理事、佐藤・前田・野村・小高・中橋・山口(議案第3号から参加)・島田・西谷(15:40から退席)・畑中・平田・中島・小田部・樋口(15:05から退席)各理事 以上23名
古屋、佐久間(15:20から参加)各監事 以上2名
- 欠 席：丸会長、飛松副会長、杉本理事 以上3名

1. 開 会

2. 蛭田副会長挨拶

複数理事が厳しい財政状況の中で辞任したが、理事、各委員会の皆様がよくしようと頑張ってきたので、現体制で、残り一年継続し、岳連の皆様にも実績を示せるようにしていきたい。スポンサーを含む外部に対しても、いつも厳しいというだけでなく、JMSCAが頑張っている姿を見せ、オリンピックメダル獲得のチャンスもぜひ生かしていきたい。今後一年間ご協力をお願いします。

3. 会議成立状況報告

理事数 開始時26名中22名出席

監事数 2名中2名出席(定款第33条、定足数=14名(1/2超))

4. 議長選出

蛭田会長が議長を務める。(定款第32条)

5. 議事録署名人

会長及び監事(定款第34条)

6. 議 題 (注. 審議順に記載)

議案第1号：第3回理事会議事録(事前配布済)について、異議なく承認された。

議案第2号：役員担当について

1. SCの各委員会の役員変更について、町田部長が配布資料を基に説明した。

技術委員会：樋口主管理事、中橋委員長

普及委員会：栗田主管理事

マーケティング委員会(スキーモ、登山もカバーする)：

町田主管理事、小田部委員長
SC指導委員会：野村主管理事(登山部長も兼ねる)
上記について、異議なく承認された。

2. 常務理事について

当初常務理事候補者が、12名いたが、理事26名（総会后23名になる見込み）に対して12名では、常務理事会の決議内容が、そのまま理事会でとおってしまい理事会が機能しなくなってしまうことが懸念される。各専門部（総務部、SC部、登山部）部長は、常務理事でなければならないという制度上の決まりもある。

上記意見から、常務理事の数を減らした方がよいのではということで、会長1名、副会長2名、専務理事1名（総務部長兼任）、事務局長1名、登山・SC部長2名の合計7名で以下の常務理事（業務執行理事）案で採決を取り、承認された。

会長 : 蛭田 伸二
筆頭副会長 : 古賀 英年
副会長 : 吉田 春彦
専務理事 : 小野寺 齊（総務部長兼任）
登山部長 : 野村 善弥（今回正式受諾）
SC部長 : 町田 幸男
事務局長 : 赤尾 浩一
棄権 ゼロ、 反対 ゼロ、 賛成 22名

議案第3号 令和5年度報告（総括）について

小野寺専務理事が配布資料をもとに説明し、以下の意見が出た。

HP上に掲載した内容（年次計画）にクレームがあったので、年次計画は、7月に一部変更提案予定。

各理事、委員会で内容を確認していただき、変更が必要であれば、6月7日（金）までに、事務局に送付していただく前提で採決をとり、以下のように承認された。

棄権 ゼロ、 反対ゼロ、 賛成 22名

議案第4号 令和5年度決算について

赤尾事務局長が配布資料をもとに、決算案を説明した。

貸借対照表で、正味財産は、2,034万円となり債務超過は免れた。基金2,740万円が大きく貢献した。収支について、3,796万円の赤字となってい

る。

その後、以下の意見が出た。

*補正予算（4-6月の影響で-3,500万円弱の赤字を予想）と実績値（-3,796万円の赤字）でほぼ同様となった。収入、支出について、SC強化関係で、補正予算時と比べて増えている。

*総会時には、SC競技委員会、SC強化委員会、事務局が大きい支出となっているのでこれらの委員会の状況を説明することになった。

その後、総会、内閣府への提出決算書類について採決をとり、以下のよう
に異議なく承認された。

棄権 ゼロ、反対 ゼロ、賛成 22名

さらに、財政基盤確保資金の600万円をとりくずす件について（過去2年で
国内外の競技用途で6,000万円から5,400万円を取り崩して残った資金）
5月31日監事監査後、6月4日に会計士から、取り崩すように指摘された。

先ほど承認された2023年度の貸借対照表の一部変更（財政基盤確保資金
600万円取り崩し）と、本日6月6日（木）に、変更後の決算書類を監事によ
り追加監査を行うことを前提に、あらためて変更後の決算書類について、
採決をとり、以下のように承認された。

棄権 ゼロ、反対 ゼロ、賛成 22名

その後、6月6日の追加監査を経た決算に係る報告、監査所見
について佐久間監事から報告され、以下のように承認された。

棄権 ゼロ、反対 ゼロ、賛成 22名

議案第5号 基金拠出者名簿の公開について

前回の臨時総会で要求が出た標記の件について、総会では公開しないと、
基金拠出者にお礼ができないので最低でも名簿を公開することが必要
という意見が多く出た。また、理事会には、拠出金額を含め、理事が決定
にかかわることが必要なので、氏名と金額を公開することが提案され、以
下のように異議なく承認された。

棄権 ゼロ、反対 ゼロ、賛成 22名

議案第6号 定期総会の議事について（8その他で協議）

議案第7号 正会員の入退会について

小野寺専務が、配布資料を基に、以下の4県の正会員入退会の提案がされ、異議なく承認された。

（新正会員）

鹿児島県山岳・スポーツ連盟： 川添秀男氏、
宮崎県山岳・スポーツクライミング連盟： 新原祐治氏
宮城県山岳連盟： 山田定道氏
千葉県山岳・スポーツクライミング協会： 目次俊雄氏

議案第8号 クライミング体験会（石鎚パーク）の主催について

町田登山部長が説明し、スポンサーが事業関係資金を供出し、JMCSAが主催となるイベントの説明をし、異議なく承認された。

議案第9号 組織運営規程について

古賀登山部長が、配布資料を基に、加盟団体振興推進PTのJMCSAの組織での位置づけについて説明し、以下の質疑応答があった。

- 五輪推進室を置き換える根拠は何か。
- 委員会とは別で、常務理事会、理事会に提言するという目的である。
- 当PTは、スポンサーの件や、SC、スキーモも取り扱うのか。
- SC関係の委員会についても、変えると様々な問題がおきる。
- 当件は、総務委員会で検討後、全体の整合性を取ったうえで、理事会へ提案した方がよいのではないか。
- 定款と照らし合わせながら、組織を考える必要がある。
- 加盟団体振興推進PT設置要綱（設置背景、会議頻度、運営形態等）があり運用できれば、組織図を変更しなくてもよいのではないか。
- PT（プロジェクトチーム）は、一時的な活動なので、継続するならば、名前を変更するという含めて検討してはどうか。
- 理事会の前に総務委員会で検討すべきではないか。

以上の意見交換後、一度総務委員会を開催し、関係者参加の上、意見を聞きながら、どう進めるか検討することになった。

議案第10号 T顧問の名誉会長への委嘱について

蛭田会長が、JMCSAとして名誉会長の就任をお願いする背景の説明をした。また、ご本人からは、JMCSAが社会的に有用と認められるために、自分が有用ならば協力するとのことで、内諾済である。

異議なく承認されたので、蛭田会長がT顧問に委嘱することになった。

議案第11号 会員管理システム（JMCSAフレンド）について

システム開発業者から、JMCSAに、7月に行う対外的なイベントで、インタビューさせてほしいとの希望が出ている。一方、以下のような意見が出た。

- JMCSA内に当該システムを紹介してほしい、参加料の徴収や、マーケティング活動につなげる、各委員会で持っている情報を共有化する。スキーマの大会結果をつなげるなど。
- 総会でも紹介可能。
- 当プログラムは、会長自ら行うのではなく 担当委員会、メンバーを決めた方がよいのではないか。
- ランニングコストが月11万円かかっているが、今後発生する減価償却等も考慮し、自走できるための開発、拡張に資金を使用した方がよい。

蛭田会長がインタビューを受ける件について採決を取り、異議なく承認された。

7. 報告

報告第1号 財政再建準備委員会からの報告について

吉田副会長が、配布資料を基に以下の内容を説明した。

財政再建委員会の根幹は業務執行理事が担う。

目標として、

1. 事業規模の適正化
2. 広告代理店による収益確保などを通じ、財源確保につなげる。
3. 進捗管理が必要。
4. 基金二次募集を行うが、理事会で協議する。

総会の前に次回会議（6月18日予定）を行なう。

複数岳連から申込を考えているとの声のでており、二次募集は時期を逸しないように進めてほしいという意見が出た。

報告第2号 アジア山岳連盟30周年記念事業進捗について

小野寺専務理事が現状を説明した。地元の関係者（新潟県山岳協会、JAC新潟支部、新潟県、長岡市等）と協議を進めている。理事の方にも参加してほしいと考えている。ホテルは手配済み。

小野寺専務理事が、以下の第3、4号について配布資料を読んでおくよう伝えた。

報告第3号 山岳共済会令和5年度決算、令和6年度予算について

報告第4号 指導員認定について（常務理事会承認済）

報告第5号 業務執行理事の職務執行報告

各業務執行理事が報告を読んで、理事会で説明した。

報告第6号 各委員会議事録について

8. その他

1. 自然保護委員会の委員の承認について

登山部には承認依頼がきているが、登山部全体でまとめて提出する予定のため、常務理事会での提案、承認は、まだされていない。

2. 定時総会 第3号議案 善管注意義務違反者処置について

当日説明する内容を、事前に理事と共有する目的で、蛭田会長が善管注意義務違反者の状況について説明した。

裁判となり、解決が長引くよりも、JMCA理事会として早期決着し、前を向きたいので、ご理解いただきたいと総会で説明する予定。

0氏は正会員全員の合意が必要。一次基金を拠出しなかった令和4年度理事10人中8人は、次回基金募集で申込の予定ときいている。

令和 6年 6月6日

記録 赤尾 浩一

以 上